

1 部

学習サポート

【再掲】日本郵便の10月からの 郵送物サービスの一部変更について

2021年10月より、日本郵便（郵便局）の普通扱いの郵送物サービスが一部変更になり、土曜日配達休止およびお届け日数の繰り下げが行われます。レポート、各種申込など提出の際はご注意ください。

各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック2021』にてご確認ください。

- ・ 学年暦 → p. 4～5 ・ 通信教育部カレンダー → p. 20～25
- ・ 演習・実習科目関連締切等
 - p. 41～44 → 社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
 - p. 45～47 → 精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染防止の観点から大学の方針で、11月までのスクーリングや科目修了試験について会場での実施は中止となりました。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、事情をご賢察のうえご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細は、下記にお知らせいたしますので、ご一読ください。

なお、ご不明な点は、通信教育部事務室までお問い合わせください。

本冊子でお知らせする内容は、今後の状況により随時変更となる可能性があります。急な変更や12月以降のスクーリング等も含め、最新情報は本学通信教育部ホームページ等でお知らせいたします。

◆11月まで、会場で行うスクーリングなどを中止

◆中止のスクーリング等およびその代替方法

- ・本冊子4部、本学通信教育部ホームページ等の「新型コロナウイルス感染症防止に伴う各種対応について（第13報）」をご参照ください。
- ・オンデマンド・スクーリングの申し込み等については、本冊子『With』5部をご覧ください。

◆対面での学習相談および自習室の使用について

※緊急事態宣言の発出により、対面での学習相談および自習室の利用を中止させていただく場合がございます。

- 1) 当面の間、入構を制限します。
- 2) 平日のみ利用可能となっております。日付は第2希望までご記入ください。
- 3) 「利用申込書」を提出し、予約が必要です。
- 4) 本学通信教育部HPからダウンロードした「利用申込書」を利用希望日の1週間前までにメール添付で提出してください（提出先uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）。
- 5) 郵送で提出する場合は、本冊子の巻末の申込書を使用し、利用希望日の1週間前までにお申込みください（返送先住所を明記し定形封筒に84円切手を貼付した返信用封筒を同封）。
- 6) 当日は学生証の提示が必須となります。
- 7) 学習相談は平日の下記①～⑤となり1日一人1回の利用となります。
午前（①10：00～10：30、②11：00～11：30）
午後（③14：00～14：30、④15：00～15：30、⑤16：00～16：30）
- 8) 自習室の利用可能時間は、平日の下記①②となり1日一人1回の利用となります（入室制限：1回4名）。
①10：00～12：00（120分） ②14：00～16：00（120分）

9) 学習相談は講義に準ずるため、録音・録画はご遠慮ください。

【注意事項】

- 1) 学習相談または自習室の使用を目的とした入構に限ります。
- 2) 1回の学習相談は最長30分以内、1回の自習室使用は最長120分以内となります。
- 3) 入館は開始時間5分前からになります。開始時間に遅れないようにお出でください。
- 4) 建物の入口が開いている場合も、入館せず時間まで外でお待ちください。時間になっても職員が来ない場合は、お電話ください。
- 5) 各終了時間には退室していただきます。
- 6) 入退館時は通信教育部職員が受付し、誘導いたします。
- 7) 入構時には、ご持参のマスク着用および出入口での検温と手指消毒が必要です。
- 8) 発熱のある方（体温37.5度以上）、体調不良の方は、入構することができません。
- 9) 疾患をお持ちの方やご高齢の方など感染により重症化しやすい方は、メールや電話などでご相談いただき、自習室のご使用は自粛をお願いいたします。

◆事務室各対応時間

〈電話〉 9：00～17：00(水曜日を除く)

〈メール〉 9：00～17：00

◆ご協力をお願い

- ・レポート、各種証明書の申込等は、郵送での提出にご協力ください。
- ・電話・メール・郵送でのご質問・ご相談にご協力ください。

注) 図書館（国見キャンパス）等については、本学図書館ホームページ (<https://www.tfu.ac.jp/libr/>) でご確認ください。

カレーライスの作り方を 教えてください

教員 MESSAGE

通信教育部副部長・教授 田中 尚

ソーシャルワークの演習授業の中で、「カレーライスの作り方を教えてください」と言われた場面を設定して、一対一のロールプレイを学生同士で行うことがある。この演習のねらいは、「カレーライスの作り方」を「教えて欲しい」ということを受けてその作り方に直接応えるのではなく、求めている人の置かれている状況に幅広く耳を傾け、その人との関係をつくりながら、「カレーライスを作る」ことの意味と一緒に考え、話を聴くということを目的に行うものである。もちろん、実際の相談の場面の中で、このような依頼を受けた場合には、直接、方法としての「作り方」を伝えることもあるが、このロールプレイの演習では、その目的を依頼者との「関係づくり」というテーマで行っている。

しかし、依頼者から「作り方を教えて欲しい」と言われると、それに答える方はい、その方法をそのまま伝えたくなり、まず、野菜をはじめカレーに入れたい食材を準備し、先にお米をといで置いてなど、カレーライスのレシピや手順を説明してしまうことがある。そのように、相手の言葉に応じて対応することはよくあることでもある。

演習のねらいとしては、「カレーライスを作りたいのですね……。」「どのようなカレーライスを作りたいのですか？本格的なものですか、それとも簡単に作れるものですか。」「シーフードカレーですか、それとも肉を入れるとすれば、牛肉ですか、豚肉ですか。」「何人前のカレーライスを作りたいですか。」「誰と食べたいですか。」「食材をいつもどこで買われるのですか。買う場合にどのようなことに気をつけていますか。」「カレーライスの思い出はありますか。」など……、「カレーライスを作りたい」と思うようになった経緯や、「どのようなカレーライスを作りたいのか」をわか

りと受け止めながら、その人の置かれている状況を理解し、一緒にそれを作っていくための協働関係をつくることとしている。そのためのかわり方を実際に行ってみると、聞く方も答える方もなかなかうまくできず、つい、機械的に自分の作り方を説明してしまいがちになり、一方的に押し付けるようなことになったり、尋ねた方も、一生懸命に応えようとしている相手の姿に押されて、承服するような形になることもある。

相談援助においては、援助関係そのものが生命線であると言われ、実践学としての社会福祉においては、援助関係の質のあり方が大きな影響をもたらす。その際に、まず、相手の求めていること（ニーズや課題）を的確に理解し、それらに対して誠実に、丁寧に応えながら、そのような求めの背景を一緒に考えていく。その人が求めているものの本質を、その人と一緒に探求していくことに相談援助の核となるものがある。そのためには、援助関係をどのように作り、発展させていくかが重要となってくる。そこで、援助関係をどのように作りながら、「カレーライス の作り方を知りたい」という求めにある背景には、どのようなことがあるのかを探求することが、先のロールプレイの演習のねらいであった。そして、それらの演習を通して、頭で理解していても、容易にできないことに気付くことも重要な学びの一つでもあった。どうしても自分なりの枠組みの中で、相手の求めを理解し、応えてしまうということもあれば、真に相手の求めの背景にあるものがつかめず、自分なりの答えを出してしまうといったことになりがちとなる。しかし、そのような気づきにこそ、学びの本質があるように考える。ロールプレイでうまく演じることや応答するが学びではなく、そこでうまくできなかったことに学びがあると考える。そして、様々な形で苦労し、感じ、考えるという営みが重要な学びであることに気づくことができる。

相談援助演習、特に何らかの求め（ニーズや課題）に応えるうえでの対応について、その学びの意義について考えてきたが、このことは、これか

らの通信教育での学びを始めるに当たっても通じるところがある。改めて、通信教育での学びに対する期待やニーズ、そして、何よりも「何を」「どのようなこととして」「どうして学びたいのか」、「様々な学びの条件はどのようになっているのか」などを確認し、単に知識を得るだけの学習にとどまるのではなく、学びを通して疑問を感じ、発展させて、その背景にあるものを考えることによって、これまで「当たり前」に思っていたことを見直すなど、学びを通して問題や課題の本質をつかむことが重要となる。これから、地球規模での課題や問題がますます深刻化することが考えられると同時に、身近な生活に直接的な問題が多様な形で広がっていくことが考えられ、私たちは「これまでにない（未曾有の）経験」（例えば、環境問題、成長の限界、働き方を巡る問題、AIとの共存、少子高齢・人口減少社会に関連する問題など）をしていくことになる。そのような「これまでにないもの」に向き合う「考える力」を、これからの本学での学びを通して、一緒に培っていききたいと思う。

